

実施日	2005/10/30	記入者	コスモ花子
食 事 行 為 に 関 す る 事 項 * 必 要 に 応 じ て 記 入	①利用者の知識・技術・意欲の状況	食べる事は好きな様子だが、うまく口に運べないことへのイラツキあり。	
	②家族・支援者の知識・技術・意欲の状況	奥様がほとんど毎日来て、昼食の介助をしてくださる。刻みの大きさなど、奥様を交えて検討しています	
	③日常の食習慣や生活習慣の状況	前病院では、経管栄養 当院入院時より、経口摂取開始特に問題はみられない。	
	④訪問介護等による食事サービスの状況	なし	
	⑤配食サービスや通所サービスでの食事摂取状況※	なし	
	⑥活用しているあるいは今後活用できる資源状況※		
	⑦食事・食事準備や買い物環境※		
専門職アセスメントによる結果(転記)	<p>医師:経口摂取に無理があるようなら、栄養補助食品または、経管栄養との併用も検討</p> <p>リハビリ:車イスでの散歩等の機会を増やし、気分転換をしてもらうことにより食欲増進をはかる。</p> <p>看護師:できるだけ、声かけを多くし気分よく過ごしてもらえるようにする。 痛みの訴え等は現在ないが、今までとお見守る。</p>		
総合評価・判定	<p>1.経口摂取には、限界があるかもしれないので、経口流動食を提供してみる。</p> <p>2.できるだけ、経口の状態を維持できるように、刻み方を工夫し、また嗜好にあったものを極力提供できるようにする</p>		